

事業所名 スタジオみらい逗子田浦
児童発達支援

支援プログラム

作成日 令和 7年 10月 24日

法人（事業所）理念		「子どもたちの喜びが社会も喜びに導く」を基本理念とし、遊びの中から得られる新しい経験からよりたくさんの喜びを感じてもらうために、より多くの遊び(療育プログラム)の実施。ひとつの遊びよりも、たくさんの遊びからの方が、より多くの新しいことができるようになり、より多くの可能性の発見につながります。 当たり前のことではありますが、これを保護者の方々だけで行うのは、・時間・コスト・精神力・体力的にも大変なことです。スタジオみらいは地域の方々を含めた、たくさんの人たちの協力のもと、これを実現していきます。 まずは一人ひとりの興味を見極め、苦手なことは好きな遊びを通して伸ばし、好きなことは新たな遊びからさらに伸ばし、可能性の発見へとつなげていきます。 子どもたちと一緒に見つけた可能性を、児童発達支援管理責任者を含む療育スタッフが、"才能"へと結びつけます。		
支援方針		◆スタジオみらいが大切にしていること ①こどもたちの色々な可能性を発見する。 ②こどもたちの可能性を伸ばし選択肢の幅を広げていく。 ③どうしたらできる可能性があるのかを考えチャレンジする。 ④自立に繋げる。 <div>の4つを大切に療育活動を行っています。</div>		
営業時間		平日 10 時 0 分から 18 時 0 分まで 学校休校日 9 時 0 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり（片道30分以内を想定しています。）
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none">● 身辺自立：トイレトレーニングや着替え、手洗い等、日常生活に必要な動作を子どもの発達に合わせて支援を行います。● 健康管理：定期健康チェックや病気予防を徹底するとともに、活動の機会を捉えて、健康な体の基礎作りを行います。● 安全教育：交通安全や防災訓練を通じて日常の安全意識を高めるとともに、活動の機会を捉えて、ロールプレイを行います。● 生活リズムの確立：ご家族のご協力を得ながら、規則正しい生活を促します。		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none">● 身体機能向上：身体能力向上の為に運動を活動に取り入れ、身体の使い方を知る活動を行います。● 感覚統合：触覚を刺激する遊びやトランポリン等を使った運動で、バランス感覚と空間認識を養います。● 有酸素運動：施設内や公園での遊び、サーキットトレーニングを通じて、心肺機能の向上を図ります。● リズム遊び：音楽に合わせたダンスやリズム遊びで、リズム感と協調性を育み、楽しく体を動かします。● スポーツ活動：ボールを使った運動を取り入れ、身体の使い方や身近なスポーツに触れる機会を活動として取り入れています。		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none">● 認知スキルの向上：物の名前や数の概念、図形の認識など、個別課題により能力の向上に努めます。● 情報を受け取る力の育成：人の話を聞く力やイラストを用いたカード、文字情報から、その意味を正確に読み取る力を伸ばします。● 指示理解の育成：イラストを使用したカードや文字の提示により、指示された内容を理解し、自ら行動できる力を育みます。● 問題の解決：困りごとがあった時に、自ら適切な方法で助けを求められる力を育みます。●モチベーションの向上：スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけ自己肯定感を高めていきます。		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">● 言語能力の向上：友達との日々の関わり合いの中で、適切な言葉の使い方を学びます。● コミュニケーションスキルの向上：日々の活動の中で友達同士のやりとりにおいて、適宜必要な場合はスタッフが介入し適切な行動や伝え方を支援します。● 支援技術の活用：イラストを用いたカードやマカトンサイン、手話など、個々に合わせた方法を使用し言葉でのコミュニケーションが難しい子どもたちのコミュニケーションを支援します。		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none">● ソーシャルスキルの向上：友達との遊びの中から相手の気持ちを理解し自分の気持ちを適切に伝える等、関わり方を体験します。● 社会性の向上：挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を練習することで、集団生活に必要なルールやマナーを身に着けます。● 協調性の育成：同じおもちゃを一緒に使ったり、貸し借りや順番に使うことから協調性を育みます。● 自己肯定感の育成：成功体験の共有や日常的に他者を褒める習慣を通じて、自己肯定感を高め、互いの成長を喜び合う機会を提供します。		
家族支援		<ul style="list-style-type: none">● 利用日毎の送迎時に当日の療育活動の様子の報告を行っています。● 定期面談とカウンセリング：定期的な面談（6か月に1回以上）とカウンセリングで、お子さんの成長や課題について保護者と話し合い、心のケアをサポートします。● 情報提供：研修会等を通じて、最新の情報や支援方法を共有し、家族の知識を深めます。● 家庭での支援方法の提案：児童に合ったご家庭でできる支援方法があれば提案させていただき、家庭でも継続的に子どもを支援できるようサポートします。● 相談窓口の設置：公式LINEや電話等にていつでも相談できる環境を提供します。		
移行支援		<ul style="list-style-type: none">● 基礎学力の向上：小学校入学に際し、自分の名前理解や数に関する個別課題を行い、本人の自信に繋げていきます。● 小学校への適応：少しずつ放課後等デイサービスの活動に参加することで、小学校生活にスムーズに移行できるよう支援します。● サポートネットワークの構築：支援機関との連携を通じて、継続的なサポートを受けられる環境を整えます。		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none">● 地域の施設利用：図書館や体育館など、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。● 地域連携の強化：地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。● 情報提供と啓発活動：SNSの積極的な活用により、地域に活動内容や障がいについての理解を広めます。● 緊急時の地域連携：地域と連携した防災訓練や緊急支援ネットワークを構築し、災害時の対応力を高めます。		
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none">● 定期的な研修と教育：月に1回の全体ミーティングや個別支援計画の会議を通じて、児童情報の共有に努めています。● 資格取得支援制度：資格取得のための費用補助や学習支援、資格講座を提供し、職員の専門性を高めます。● 評価とフィードバック：定期的な評価とフィードバックを通じて、多角的な視点から職員の成長を支援しています。● 療育プログラムの共有：月毎のレクリエーション活動の目的や取り組み方の共通認識を行うため、職員間で月毎の集まりミーティングを行う体制を整えています。● 職場環境の改善：働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図っています。		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none">● 社会体験活動：地域の施設見学● 園芸活動：季節の収穫体験（野菜の収穫体験）● 季節行事：夏祭り、クリスマス会、運動会、音楽イベントの参加		